

■ 第 145 回あすなろ句会 2023 年 10 月 ■■

高得点句

|   |                |       |     |
|---|----------------|-------|-----|
| 天 | 一両車の窓明かりのみ霧を行く | 智香子   | 7 点 |
| 天 | どうしても消えぬ人なり十三夜 | 智香子   | 7 点 |
| 人 | ぽっかりと浮かぶ城跡霧の海  | 翁山 歩存 | 4 点 |

得点取得句

|                  |       |
|------------------|-------|
| 濃霧から近づいてくる靴の音    | 智香子   |
| 老友と世上を憂い菊脛       | 志摩 光月 |
| 鈍行の汽笛の長く霧深し      | 小正 日向 |
| 鳥撮りや樹上の先のひつじ雲    | 翁山 歩存 |
| 山中の闇けてたしかや竹の春    | 無想庵雲水 |
| うろこ雲湧いては寄せる空は海   | 石 敬   |
| くれなるの嶺は斑に秋の山     | 無想庵雲水 |
| 草臥れたリュック下げいく霧しぐれ | 田辺かつら |
| 霧の香を纏いて歩む宮の朝     | 石 敬   |
| 素っぴんのくちびる淡しとろろ汁  | 夏陽きらら |
| 野仏にたおりの野菊古道行く    | 小正 日向 |
| まどろみを誘う顔そり秋うらら   | 翁山 歩存 |
| 父母見舞い霧の箱根の家路かな   | 志摩 光月 |
| コスモスの揺れるまにまに母遠く  | 真野 愚雪 |
| 草木の風の移ろい今年酒      | 田辺かつら |
| 一湾の潮のしづまる霧笛かな    | 無想庵雲水 |
| 頼りなく寄りかかる椅子良夜かな  | 田辺かつら |

ターンパイク渦巻く霧の峠越へ

白芙蓉手ぶらの手にぞころと落ち

鳥葬の山静かなり霧立ちぬ

再検査良き結果得て秋の空

秋暮れて鍵ひとつだけ残されて

真野 愚雪

村田 一女

夏陽きらら

千草 雨音

真野 愚雪

— 以上 —